

# Last Orockey

小禄高等学校 R8 3/19  
校長便り VOL. 38  
発行人：校長 名幸 哲



## 小禄高校のみんな！今まで本当にありがとう

小禄高校の皆さんへ。校長の名幸です。長い36年間の教員生活にも終止符を打つ時がきました。この3年間、私はずっと思っていました。「私は小禄高校に丸ごと恋している」と。だからこそ、皆さん1人ひとりのことが、たまらなく大好きでした。何気ない朝のあいさつ。廊下で交わす一言。気さくに声をかけてくれるみんなの笑顔。そして、試合で見せてくれる真剣まなざし。その全てが私の心に深く刻まれ、毎日が本当に楽しく、気づけばあっという間の3年間でした。私はみんなのことを「生徒」としてだけ見たことはありません。いつも、一人の人間として向き合ってきました。だからこそ、距離が近すぎて、今風に言うと「ちょっとうざい校長」だったかもしれませんね。それでも、あの日。予餞会で、みんなが「GO GO Orockey を一緒に歌ってくれた時、胸がいっぱいになり、声が出なくなりそうでした。みんなの優しさが、まっすぐに心に届いた、忘れられない瞬間です。本当に、ありがとう。来年度からは沖縄女子短期大学で英語の非常勤講師として、新たな一歩を踏み出します。小禄高校を離れても、私の心はこれからもずっとここにあります。みんなのことを、これからもずっと応援し続けます。本当は、全員の顔と名前を一致させることが目標でした。それが叶わなかったことだけが、少し心残りです。ごめんなさい 🙏 また、どこかでみんなと再び会える日を、心から楽しみにしています。どうかこれからも「禄高プライド」を胸に。小禄高校の伝統を受け継ぎ、それぞれの場所で、自分らしく輝いてください。そしていつか、「私は小禄高校出身です」と胸を張って言ってくれたなら、それ以上に嬉しいことはありません。みんなと出会えたことは、私にとって、かけがえのない宝物です。それでは、みんな！どうかお元気で☆さようなら！



小禄高校第25代校長  
名幸 哲



## Go! Go! Orockey

Words and music by Nako

2度と戻らない 瞬間を後悔に かえないように君は 歩き続ける  
そうだね わかっているけれど 時には 立ち止まり 涙を流すことさえある  
側にいることが当たり前すぎて いつもは言えないありがとうを言ってもいいかな

※もうここで あきらめるの 君の覚悟はその程度  
仲間とすごした日々を 忘れてしまったというのかい  
まだ できることが あるさ



禄高プライド

あの時ごめんね 今ならわかるよ 君の心を踏みにじった 僕のとがった言葉  
許して欲しいなんて言えなくて だけど 気づいていたんだよ 君の優しい笑顔で  
同じ空間で 同じ時を過ごした ただそれだけが嬉しくて ずっと友達だよ **Go to** ※

